

恵那都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(概要版)

都市計画の目標

恵那市総合計画の将来都市像を基本理念としてまちづくりに取り組みます。

【都市づくりの基本理念】

『水と緑の豊かな地域の連携による持続可能な定住・交流都市への再構築』

【都市づくりの目標】

- ①個性豊かな地域が連携した魅力と活力のある持続可能な都市の実現
- ②自然・歴史・文化の保全・活用による美しく環境と共生した都市の創造
- ③安全・安心で快適に住み働き続けられる都市の形成

区域区分の有無

本区域においては、市街地の拡大の可能性がありますが、区域区分によらずとも良好な環境を有する市街地を形成することが可能なことから、区域区分を定めないものとします。

主要な都市計画の決定の方針

土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

住居系	低層住宅地区	・低層住居専用地域に指定されている地区を低層住宅地区として位置付け、道路等基盤整備を進めるとともに、斜面緑地の保全により自然と共生する低層低密度な住宅地形成を図ります。
	一般住宅地区	・JR 恵那駅南部の中心商業地周辺などに形成されている住宅地を一般住宅地区として位置づけ、住宅以外の用途の立地も許容しつつ、低層住宅を主体とした低密度でゆとりある住宅地の形成を図ります。また、基盤整備がなされた地区においては、中高層住宅の立地や幹線道路沿道等の複合的な土地利用に配慮します。 ・定住人口の増加を見込む JR 武並駅周辺や市街地周縁部においては、近隣の開発動向等を踏まえ、用途地域の指定を検討します。
商業系	中心商業地区	・JR 恵那駅周辺の商業地区は、街路整備、再開発等の手法を導入して、恵那市の玄関口にふさわしい整備を進め、中心商業核として商業業務施設の集積を図ります。 ・施設が密集している地区については、防火・準防火地域の指定により、不燃化を図ります。
	沿道商業地区	・(都)恵那駅前線、(都)一般国道 19 号線、(都)羽根平学頭線など幹線道路沿道において、沿道型商業施設を誘導します。
	業務地区	・市役所周辺において、各種行政施設が中心の業務地区を配置し、市民への行政サービスや市民の文化活動、交流機能などの充実を図ります。
工業系	工業地区	・工業地区を、工場等が集積している中央自動車道恵那インターチェンジ周辺地区、阿木川沿い、雀子ヶ根地区などに配置し、基盤整備とともに工業機能の拡充を図ります。
	工業専用地区	・恵那テクノパークは東濃圏域における拠点工業地であり、周辺自然環境との調和を図りつつ操業環境の維持を図ります。 ・恵那西工業団地の周辺において、周辺の自然環境や住環境に十分配慮しながら、工業系の土地利用の増進を検討します。
【優先的かつ計画的に市街化（用途地域指定）を図るべき区域】		大井東部北地区、大井東部南地区

都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

交通体系	・高規格幹線道路や交流促進型広域道路など、隣接都市計画区域を含め関連する道路網整備の促進を図ります。 ・中央自動車道恵那インターチェンジや JR 恵那駅など交通拠点からの流動及び本区域内の拠点地区間の円滑な交通処理などのため、国道、県道などで形成される骨格道路網の整備を促進し、交通ネットワークの強化を図ります。 ・リニア岐阜県駅からの交通処理は、既存道路の活用を含めた東濃東部都市間連絡道路により、交通ネットワークの強化を図ります。 ・(都)一般国道 19 号線を含む(国)19 号は、広域交流や地域物流を支える重要なパイプ役であることから、定時性や安全性を確保するため、バイパスとしての整備促進を進めます。また、(国)19 号瑞浪恵那道路整備後は、地域の生活道路として維持します。 ・良好な居住環境の形成や商業業務活動の円滑化、都市景観の形成、防災性の強化などを図るため、都市計画道路網の整備を促進します。 ・鉄道及びバスは通勤・通学・通院・買い物等の重要な交通手段であり、利便性の向上に向けた公共交通ネットワークの充実を図ります。 ・高齢者や障がい者など誰もが安全・安心に交通機関を利用できるよう、交通施設のバリアフリー化を促進します。
下水道	・居住環境の向上や公共水域の環境保全を図るため、市街地を中心に公共下水道の整備を推進します。 ・市街地外で自然環境や生活環境を保全する必要がある地区では、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の導入により、地区の実情に応じた整備を進めます。
河川	・治山治水を進め、保水機能の維持、遊水機能の保持を図り、洪水による災害を防止するため、自然景観や生息生物に配慮しつつ河川整備を促進します。 ・市街地を流れる河川は、親水空間の整備等により、市民が楽しめる空間として整備を進めます。 ・従来から遊水機能を有する土地において開発を行う場合には、総合的な治水対策を推進します。 ・開発行為による雨水や土砂の流出量の増大については、調整池等の設置により抑制を図ります。

市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

- ・中山道の宿場町を母胎にした旧市街地及びその周辺に拡大した市街地、さらに現行市街地周辺において開発された様々な住宅団地、それぞれの実情に応じた市街地整備を行います。
- ・旧市街地の周辺は、土地区画整理事業が行われており、市役所周辺の高い利便性を活かした市街地の形成を図ります。
- ・中心市街地と都市の活力や魅力を高めるための拠点を、公共交通や幹線道路のネットワークで連携させる集約型都市構造の形成を目指します。

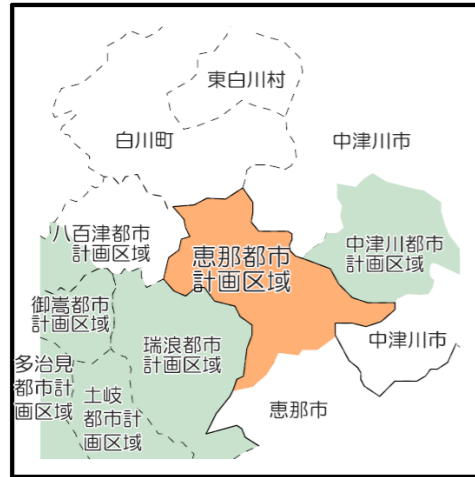
【優先的に実施する事業】

正家第二土地区画整理事業

自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- ・北部と南部の山系及び中央部を流れる木曾川は、広域における重要な緑地であり、その自然資源の維持保全を図るとともに、自然環境との調和に配慮しつつ観光・レクリエーション空間として活用します。
- ・山林と農地が織りなす田園空間は、貴重な動植物の生息・生育地であるとともに、美しい郷土景観であり保全します。
- ・市街地及びその周辺では、市民のレクリエーションや防災等に資する公園・緑地の整備が重要であり、既存の都市公園を拡充していく他、新たな都市公園を確保、整備します。

恵那都市計画区域 総括図



恵那都市計画区域総括図		凡例	
	都市計画区域界		住居系
	市街地(用途地域)		商業系
	主要な道路		工業系
	高速道路(高規格)		その他(農地・集落地)
	主要な道路(構想)		その他(森林他)
	駅前広場		市街地開発事業
	鉄道		優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域
	主要な河川		リニア中央新幹線
	主要な公園・緑地等		
	その他主要な都市施設		

A	(都)石田新田線
B	(都)葛沢桑下線
C	(都)御所の前牧田線
D	(都)恵那駅前線
E	(都)羽根平学頭線
F	(都)恵那駅前石橋線
G	(都)寺平的ヶ屋敷線